

参考資料

2015年度第1四半期 業績の概要

2015年8月7日

ソニー銀行株式会社

損益の状況(1):財務会計ベース

<連結・単体>

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

(億円)

<連結>

- **業務粗利益**

前年同期比1億円増加の60億円。
為替相場の変動を受けて外貨関連取引に係る収益(外国為替売買益)が増加したことに加え、住宅ローンも好調に推移した。

- **経常利益**

同1億円増加の18億円。

- **親会社株主に帰属する四半期純利益**

同1億円増加の12億円。

<単体>

- **業務粗利益**

連結同様増益(同1.6%増加)となり53億円。
住宅ローンに係る手数料収入の増加により役務取引等収支が改善した。

- **経常利益**

同1億円増加の18億円。

- **四半期純利益**

同1億円増加の12億円。

	<3ヶ月累計>	2014年度 1Q	2015年度 1Q	前年同期比	
連結	業務粗利益	58	60	+1	+2.1%
	経常利益	17	18	+1	+7.3%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	11	12	+1	+12.6%

単体	業務粗利益	52	53	+0	+1.6%
	資金運用収支	41	39	△1	△3.8%
	役務取引等収支	△2	0	+2	-
	その他業務収支	13	13	+0	+0.9%
	営業経費	37	35	△1	△4.6%
	業務純益	15	18	+2	+16.1%
	経常利益	17	18	+1	+8.9%
	四半期純利益	11	12	+1	+13.4%

損益の状況(2): 社内管理ベース

< 単体 >

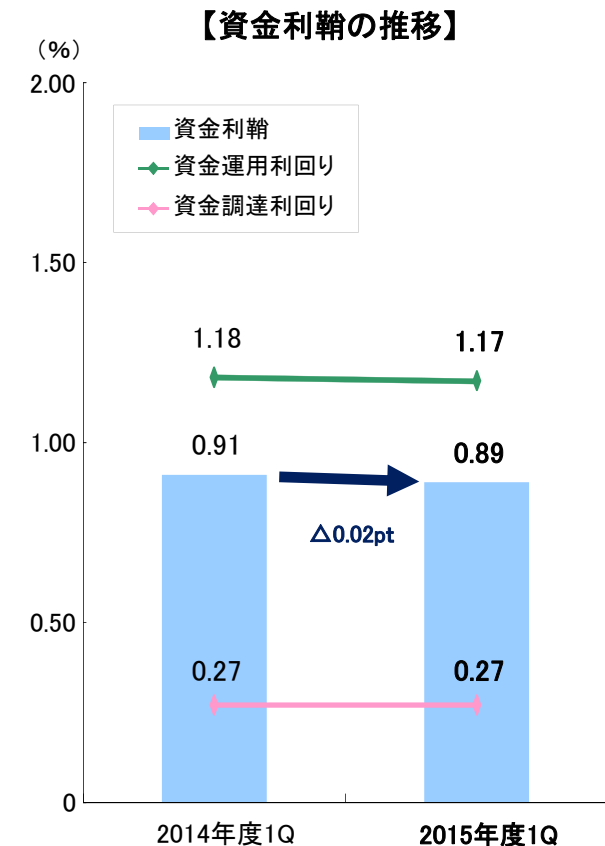
- コアベース業務粗利益は、住宅ローンの好調とお客さまの外貨預金取引に伴う手数料収入が増加したことにより、前年同期比4億円増加し48億円。
- 資金利鞘は0.89%と一定の水準を確保。

(億円)

<3ヶ月累計>	2014年度 1Q	2015年度 1Q	前年同期比	
業務粗利益	52	53	+0	+1.6%
資金収支*1①	44	45	+0	+1.0%
手数料等収支*2②	△0	2	+3	—
その他収支*3	8	5	△3	△37.0%
コアベース業務粗利益(A) = ①+②	44	48	+4	+9.2%
営業経費等③	36	35	△0	△1.5%
コアベース業務純益 = (A) - ③	7	12	+4	+57.6%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

- 社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの
 - *1 資金収支…資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
 - *2 手数料等収支…役務取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
 - *3 その他収支…その他業務収支より*1と*2の調整分を控除したものの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益
- コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの



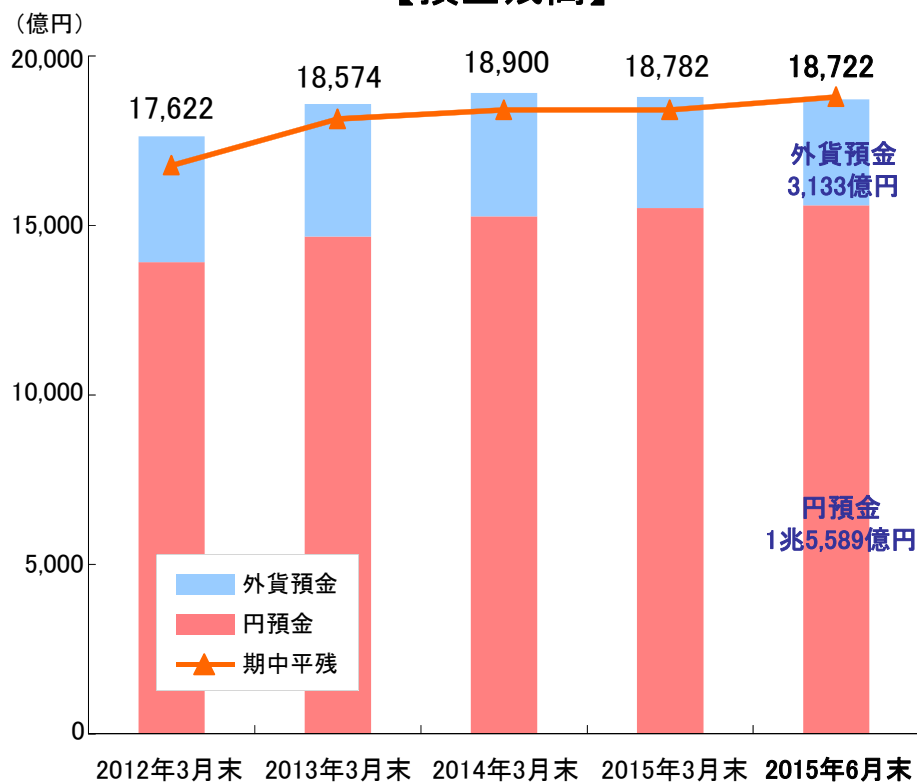
預金の状況

<単体>

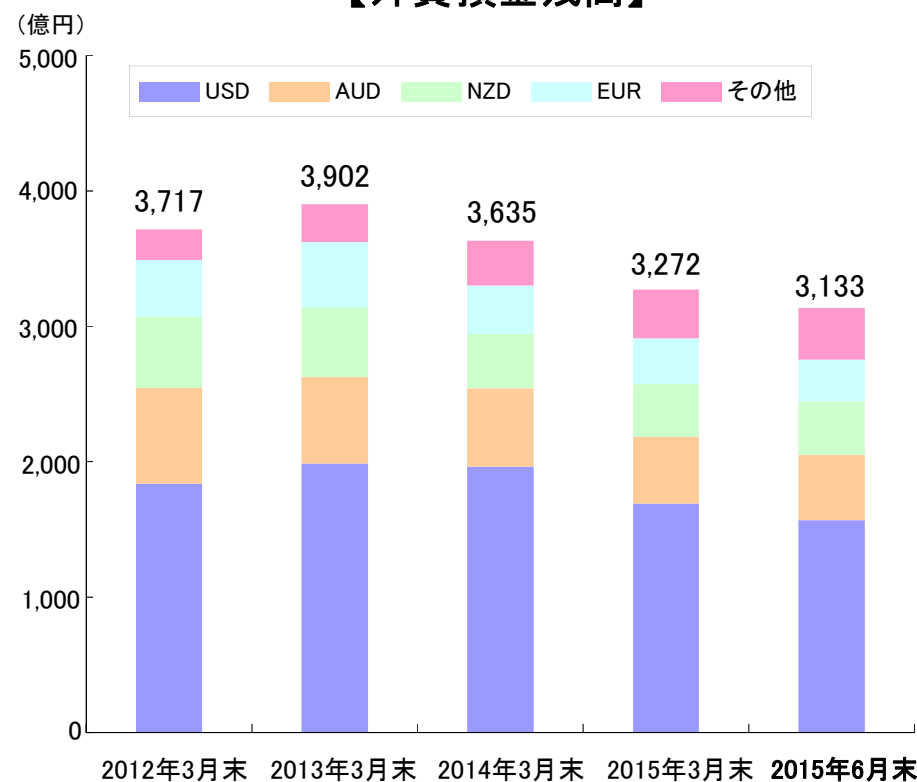
- 預金残高は前年度末比60億円減少の1兆8,722億円。
外貨預金は円安進行に伴う利益確定の売りにより残高が減少したものの、円預金は外貨からの振り替えもあり残高増加。
- 2015年6月末の預かり資産残高(預金+投資信託)は2兆11億円。

金額は億円未満切捨てで表示

【預金残高】



【外貨預金残高】

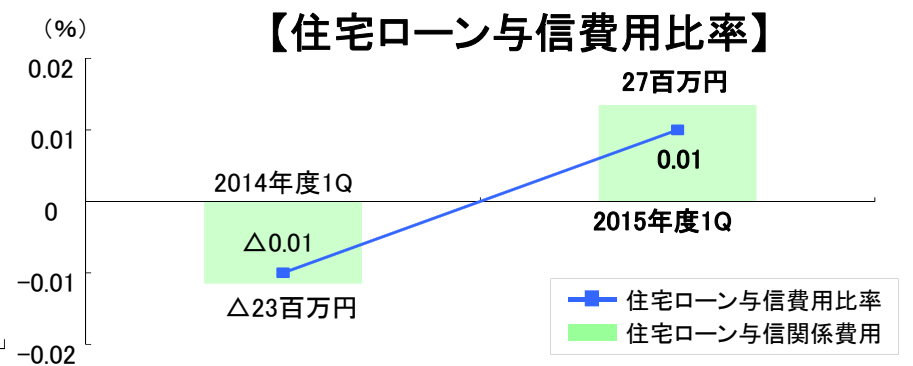
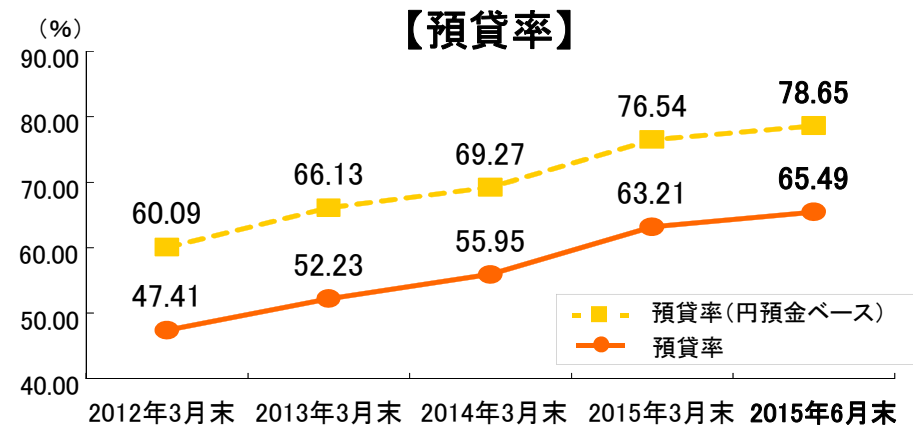
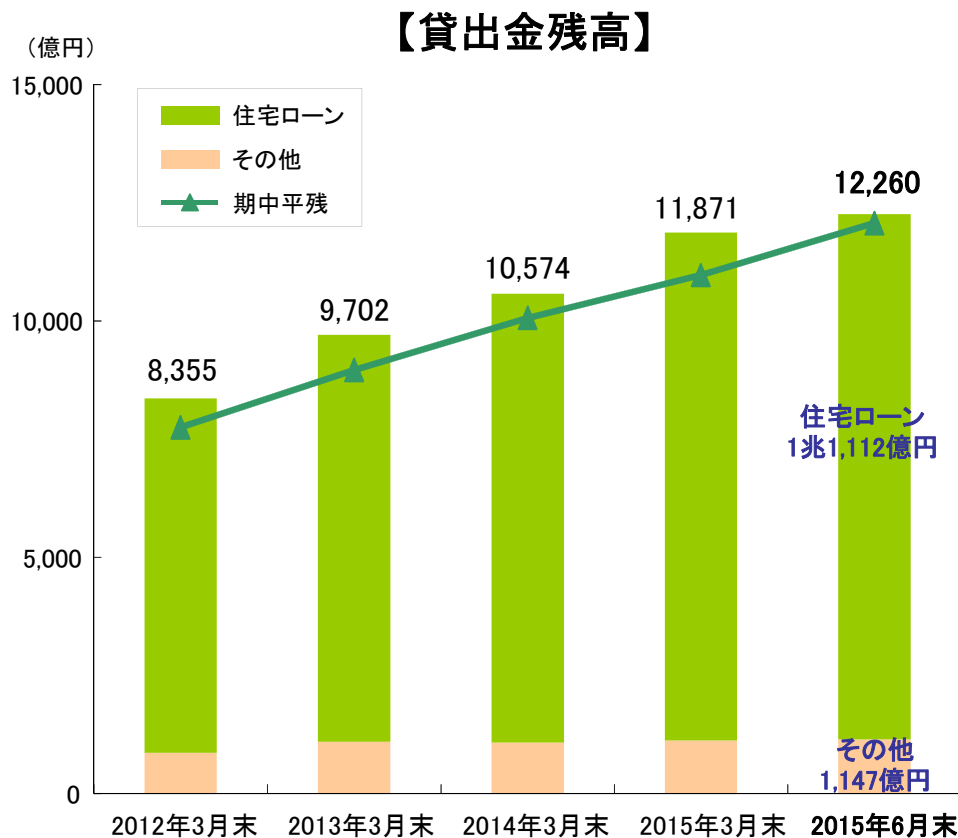


貸出金の状況

<単体>

- 貸出金残高は住宅ローンを好調に積み上げ、前年度末比388億円増加の1兆2,260億円。預貸率は65.49%と着実に向上。
- 住宅ローン与信費用比率は引き続き低水準を維持。

金額は億円未満もしくは百万円未満切捨てで表示



● 住宅ローン与信費用比率(年率換算) = 住宅ローン与信関係費用 ÷ 住宅ローン平残
 ● 住宅ローン与信関係費用 = 貸出金償却(住宅ローン) + 貸倒引当金繰入額(住宅ローン)

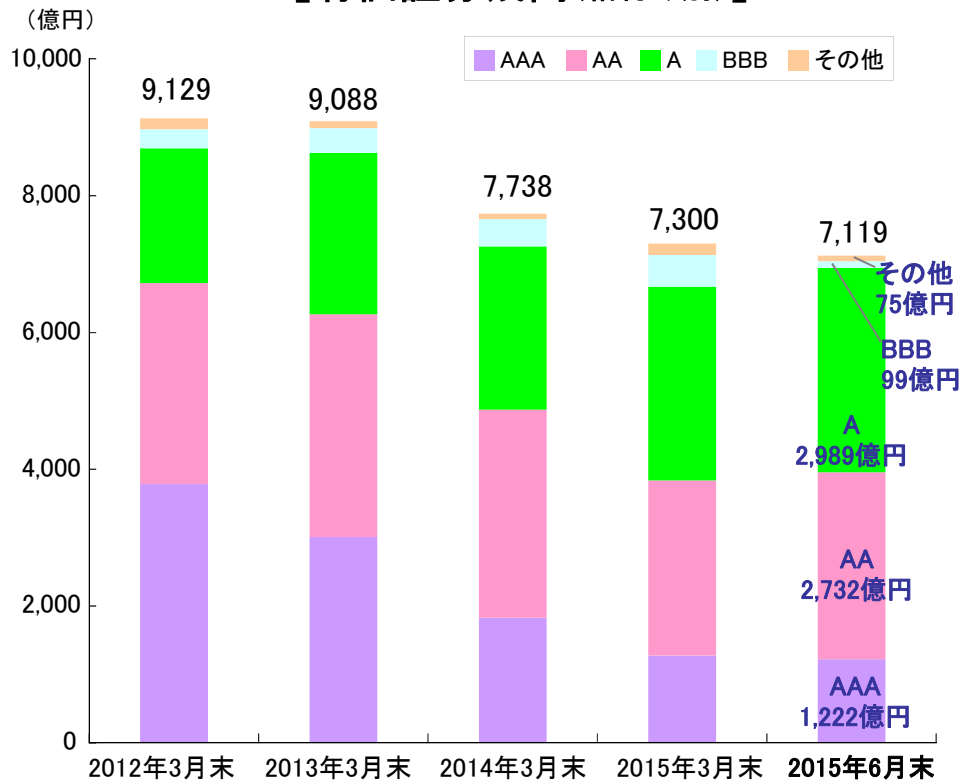
有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。残高は前年度末比180億円減少の7,119億円。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は78億円。

金額は億円未満切捨てで表示

【有価証券残高(格付け別)】



【その他有価証券の内訳】

(億円)

	2015年3月末	2015年6月末
債券	2,390	2,370
国債	749	743
地方債	566	565
社債	1,074	1,061
その他	4,806	4,646
外国債券	4,761	4,598
その他の証券	45	48
合計	7,196	7,016
< その他有価証券評価差額金 (税効果会計適用前) >	< 87 >	< 78 >

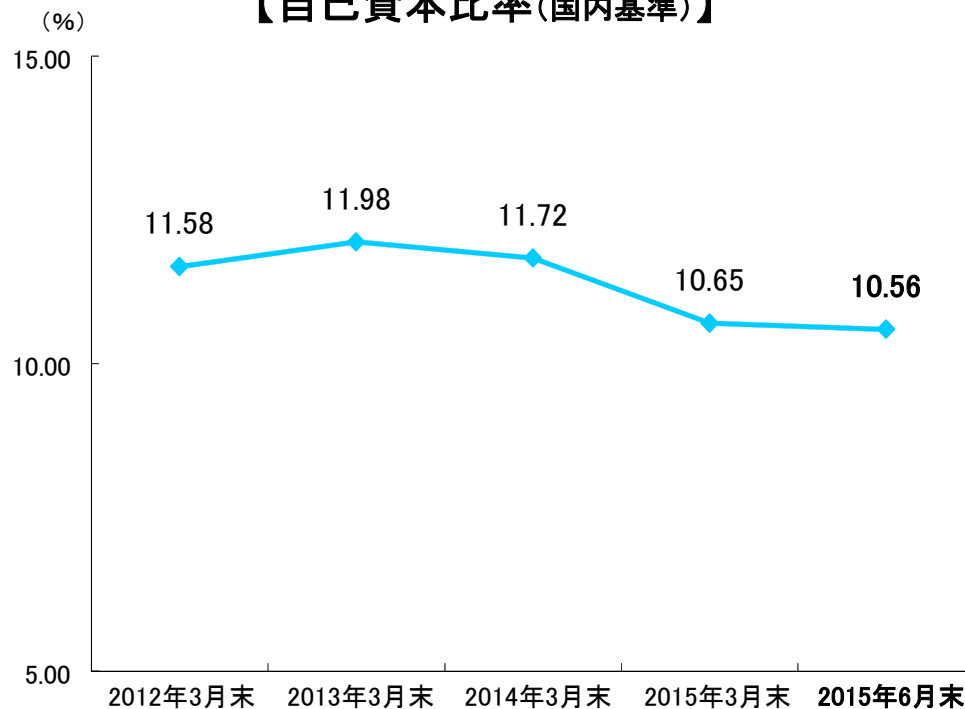
※時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳
その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)の金額は億円未満四捨五入で表示

自己資本比率・格付け情報

<単体>

- 自己資本比率は10.56%と健全な水準を維持。

【自己資本比率(国内基準)】



※平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出。なお、2014年3月末より、バーゼルⅢベースへ移行。

【格付け(2015年6月末現在)】

スタンダード&プアーズ	
長期カウンターパーティ格付け「A+」	アウトルック「ネガティブ」
短期カウンターパーティ格付け「A-1」	
日本格付研究所	
長期発行体格付「AA-」	見通し「安定的」